

カトリック河原町教会だより

2015年9月

平和旬間に 一人ひとりの祈りをこめて



済州教区子ども合唱団のミサ奉仕

8月2日、大塚司教司式の河原町教会平和祈願ミサでは、済州教区から2名の助祭と共に来日した「子ども合唱団」が聖歌奉仕をしました。

その日の午後4時から、教区主催チャリティーコンサートが開催され、京都聖母学院小学校とノートルダム学院小学校合唱団と共演。児童たちの透き通った天使の歌声は、聖堂いっぱいの聴衆の心をひとつに結び、平和旬間を迎えるにふさわしい集いとなりました。

9日の平和旬間行事では、ヨハネ・パウロ二世が1981年に日本を訪問した際の記録DVDを鑑賞しました。その時教皇が世界に向けた「広島平和アピール」は、今まさに考えるべきテーマとして心に迫ってきました。

「平和への道のみが、平等、正義、隣人愛を、遠くの夢ではなく、現実のものとする道なのです」(ヨハネ・パウロ二世)



[写真提供：京都教区広報委員会]



平和旬間行事でDVD鑑賞

十字架の死に至るまで

洛東ブロック担当 一場 修 神父

「キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になりました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした」(フィリピ2:6~8)。9月14日の十字架称賛の祝日、私たちは、このみことばを読み、黙想する。特に「十字架の死に至るまで」という箇所を心に刻む。

主キリストが人間となられ、十字架上で命をささげて下さったので、私たちは救われた。そして、救われた私たちは、キリストのように、十字架の死に至るまで生きるように励まされている。キリストのように生きることで、自分が救われたことを証しするよう招かれている。

私たちはそれぞれ、自分の十字架が与えられている。十字架とは、避けたい苦しみ、目をそむけたい現実であると言える。そして、私たちは、この苦しみから逃げられない。こ

の現実の中で生きていくしかない。だから、十字架なのである。この十字架の上で生きる時、キリストのように生きることになる。

この十字架の一つとして、自分自身の弱さ、罪深さが考えられる。自分の弱さ、罪深さを認めることは苦しい。自分自身の現実の姿こそ、最も目をそむけたいものかもしれない。しかし、この十字架の上で生きることが、生きられることが、私たちの救いなのである。救われたからこそ、自分自身の現実の姿を受け止めることができる。

そして、弱く、罪深い自分を受け止めることができる時、同じように苦しんでいる他者を受け入れることができる。自分と同じように救われた姉妹兄弟として大切にすることができる。そして、こうした交わりの中に、私たちの十字架を分かち合ってくださいキリストがおられる。



絵：ヒエロニムス・ボス(15世紀)

「教区中学生広島平和巡礼」報告

2015年8月5日～8月7日

テーマ “平和を実現するために”

8月5日～7日、32回目の広島巡礼に、河原町教会から6名の中学生が参加しました。また、スタッフリーダーとして、河原町教会から6名の青年が参加しました。

◇ 参加者のコメント

● 今回で3回目の広島でした。昨年、一昨年より深く戦争、平和について学ぶことができました。また、済州の人たちとも前より仲良く話したり、交流したりすることができたと思います。済州の人たちは日本の原爆とはあまり関係がないけれど、一緒に平和について考えて、国は違っても平和を思う気持ちは一緒なんだなと思いました。この巡礼で考えたことを生かしてこれからも平和を願っていきたいと思いました。



● 2回目の広島に参加できてよかったです。すごく楽しかったです。原爆は戦争で強い兵器を作り、その威力がどのくらいなんだろうと実験するために落とされたといわ



写真提供：広島県

れています。資料館に行って悲惨さを見ましたが、外を見ると復興できた町並みが見え、あんな目にあつたのに負けずに頑張っている広島を見て、自分ができることはほんの少しですが、目の前のことも解決せず逃げてしまう自分が恥ずかしくなり、自分だけでなく人のことも考えられる大人になりたいと思いました。



● 広島に原爆が投下されてから70年ということで、昨年よりも平和について考えさせられることが多かったように思います。この巡礼をとおして、中学生もリーダーも、今までより平和とは何か、どうすれば平和になるのかなど平和について深く考えることができたと思います。

● 僕はこれで3回目の広島巡礼で、原爆資料館も3回目ですが、回数に関係なく心に響くものがありました。それだけ原爆は、恐ろしいもの

だと実感できました。原爆は、二度と使ってはいけない兵器だと思います。だから、僕は戦争の怖さや原爆の恐ろしさを将来まで伝えていこうと考えました。



● 僕は今回が初めてで最後となる広島巡礼に行きました。この巡礼は平和について学ぶべきことがたくさんありました。特に印象に残ったのは、原爆ドームと平和を実現するための話し合いの二つです。原爆ドームでは、核兵器の恐ろしさを肌で感じることができました。平和を実現するための話し合いでは、いろいろな意見があり、自分の考えを深めることができました。だから、皆が考えを共有し、一秒でも早く戦争を終わらせなければならぬと痛感しました。

● 私は今回2回目でしたが、班で話し合いをした時、去年とは違う意見が出ました。私たちは、身近なところに小さな争いがあることに気づきました。例えばケンカ。その時には自分から引けばよいのではないかと、そうすれば、小さな争いは大きくなりやすくなります。その繰り返しで、少しでも嫌な思いをする人が減ってみんなが笑顔になれるといいなと…私もそのように心がけたいと思います。参加させていただき、ありがとうございました。

■ その他
①「求道者に同伴する信徒」養成講座(福音宣教企画室主催)参加者約2名募集中
②詩編独唱について選任、推薦する。
③9月6日(日)ガールスカウトによる物品販売予定
④10月25日(日)ブラジルフマニタス支援の物品販売予定
⑤一場神父から洛東ブロック長期計画指針が提示された。次回評議会にて協議、検討する。

■ 協議事項
敬老感謝ミサと懇親会について
9月20日に行う。昼食、催し物、お土産等について確認

■ 部会報告
四ページの行事予定欄に記載

■ 施設管理部 ①8月23日部会開催予定
②8月30日教会美化デー
広報部 イクトウス正副製本版の閲覧は可能だが貸し出しは不可で、教会で管理保存する。閲覧希望者は事務室まで。

加。教区「中学生広島巡礼」7名参加予定
③ザビエル訪れ会 訪問者名簿を再整理し訪問開始。7月12日例会実施。モンロイ神父の協力を得て活動を進める。④キリシタン研究会 7月26日例会実施
本田哲郎神父の「釜ヶ崎で福音を生きる」鑑賞と分かち合いを9月に予定。8月23日に京都キリシタン研究会共催による「南蛮寺記念ミサ」Ⅱ夫神父司式を予定
⑤教区教会学校研修会 8月29日(土)「教会における信仰体験」へのリーダー参加者を募集中

教区高校生会 夏の体験学習報告

2015年7月24日～7月28日

チェジュ教区青年信仰大会へ行こう！
～貧しいものへの青少年の叫び～

7月24日～28日、教区の高中生会がチェジュ教区において行われました。24日から26日までは、チェジュ教区青少年信仰大会に参加、26日から28日まではホームステイ体験学習で、河原町教会からは3名の高校生が参加しました。



■物心つく前から、あたりまえのように教会でミサ、けれど、信仰について同年代とちゃんと分かち合う機会を持つことができたのは、今回が初めてでした。そして、言葉の壁を越えた信仰の下での繋がりは、自分の信仰に対する意識を明るく、より濃くする大切なきっかけになりました。もっといろんな地域の青年たちと信仰について分かち合い、自身の考え方や見方を深めたいと思います。最後になりましたが、今回チェジュに行く機会を与えて頂いたことに、心より感謝しています。本当にありがとうございました。

■濟州の子どもや大人がすごく優しくかったです。教会も大きいし、信者さんたちもたくさんおられました。向こうの御飯は辛いもの（クッパ）もありました。でもとてもおしかったです。韓国は日本と違って売り物のほとんどが安かったので、両替したお金が残るほどでした。おもしろかったのは、キム神父様が「小立花神父様を、「京都から来られた“こったち”シムニ」と紹介したとたん、濟州のみんなが大笑い！何と韓国語では、“こったち”は“鼻くそ”という意味なのです。思い出はもっとたくさんあります。濟州に行けて本当に良かったです。ありがとうございました。みなさんのおかげです。濟州サイコー！

◇ 参加者のコメント

■今回4泊5日のチェジュ学習に行き、自分の視野が広がったような気がします。日本という国に18年間生きてきて、たくさんのことを学び、文化や伝統について学んできましたが、自分の全く知らない土地に行くと、全てのものが輝いて見え、見るもの見るものがとても新鮮でした。いつも話す言語とは違う同年代の人と手振り身振りを交えながら片言の英語で悪戦苦闘しながら楽しく話せたのもとてもいい思い出です。僕は18歳になり、来年には選挙の投票に行くべき年齢になりました。このチェジュでの経験を生かし、立派な大人の仲間入りをしたいと思います。また、海外に行く機会があれば必ず行きたいと思います。



河原町教会八月評議会報告要約

開催日 二〇一五年八月二日(日)

■司祭団の報告

①典礼変更に伴い洛東ブロックで勉強会(9月26日14時から河原町教会聖堂)を実施、各教会から3名ほどの参加者を募る。②合同部会の担当司祭・典礼①一場神父、高齢者と病者訪問②モノロイ神父、教育③キム神父とする。③日曜日受付担当が10時半のミサに与る場合、看板を設置して閉じてよい。④モノロイ神父10月5日～9日黙想会で不在。キム神父10月休暇(日程未定)のため不在

■洛東ブロック会議(7月25日)報告

①司祭団より聖体奉仕者は病者訪問等の際、事前にモノロイ神父の許可を得てご聖体を取り扱う。緊急の場合は後で司祭に報告する。ご聖体の扱いについては他の用事と兼ねない、準備の祈り等規定に従う。②共同宣教司牧について各教会の現状報告をし、将来の目標を検討した。

■部会報告

典礼部 ①日曜日受付奉仕について、女性の当番は原則2名体制に変更する。②典礼変更箇所の説明を神父から受ける予定
財務部 ①維持費への協力呼びかけ、未納者への対応策を検討する。②聖堂前献金箱に関して、管理上、監視カメラ設置等対策を課題とする。

教育部 ①土曜学校 8月10～12日錬成会テーマ「みんななかよし」平和について考える(計43名参加予定) 7月11日終業式 ②中高生会 7月12日終業式。高校生「濟州教区青年信仰大会」に3名参

◆ 2015年9月・10月の行事予定 ◆
(10月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜	行 事 予 定
9	6	日	評議会9月例会 10:30 ミサ後
	14	月	十字架称賛
	20	日	敬老感謝ミサ 10:30 敬老懇親会 10:30 ミサ後
	27	日	世界難民移住移動者の日
10	4	日	評議会10月例会 10:30 ミサ後 〈ロザリオの祈り 10月・毎日曜日 10時〜〉
	11	日	衣笠墓苑清掃 10:30 ミサ後
	18	日	世界宣教の日
	24	土	洛東ブロック会議 14:00 (伏見教会)
	26	月	〜30(金) 教区司祭黙想会

9月の聖人暦

悲しみの聖母 (9月15日)



イエスの生涯が受難の連続であったように、マリアの生涯にも喜びと共に多くの苦難がありました。シメオンは、幼子イエスの奉獻の際、マリアに「あなた自身も剣で心を刺し貫かれます」(ルカ2:35)と預言しました。

古くから教会は、聖母の生涯をいろいろな形で記念してきましたが、「悲しみの聖母の祝日」は15世紀にドイツのケルンで始まり、1817年に教皇ピオ7世により全教会の祝日として定められました。

このミサではイエスの「死の悲しみ」を中心としますが、昔から信徒たちは、他の出来事も加えて、聖母の「7つの悲しみ」を黙想し祈ったと言われています(①シメオンの預言 ②エジプトに避難 ③神殿でイエスを見失う ④十字架の道でイエスとの再開 ⑤イエスの十字架の死 ⑥イエスの十字架の下に立つ悲しみ ⑦イエスの埋葬)。

マリアの生涯は、シメオンの預言の通りでした。しかし、聖母マリアは神への信頼を失わず、謙遜に、すべてを心に納め、ひたすら従順に、イエスの救いの業への参与を果たしたのです。(編集委員)

◆事務室からのお知らせ

洗礼式や堅信式等を受けられた方で、その時の記念写真をご希望の場合は事務室までお問い合わせください。

敬老感謝ミサと懇親会のご案内

敬老感謝ミサ 2015年9月20日(日)10時30分
懇親会 ミサ後 ヴィリオンホール

教会では、毎年この時期に75歳以上の信徒の皆様へ敬老感謝のミサと懇親会の案内状をお送りしています。

ミサ後は、ヴィリオンホールでお祝いの食事をいただきながら歓談の時をもちたいと思います。今回は、アコースティックギターの美しい音色による演奏もごゆっくりお楽しみください。

[ギター演奏:ゆあさまさや]



河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

7:00
10:30
12:00 (英語 第2・4)
月曜日 6:30
火曜日 6:30 18:30
水曜日 6:30 18:30
木曜日 6:30
金曜日 6:30 18:30
土曜日 6:30
18:30 (主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F 集会室、3F 応接室)

火曜日 10:00(第4・5・祝休) モンロイ神父(1F)
水曜日 10:00 村上眞理雄神父 (1F)
19:00(第1・5・祝休) 一場修神父 (1F)
木曜日 15:00(第5・祝休) 一場修神父 (1・3F)
金曜日 19:15 村上透磨神父 (1F)
15:00 シスター 庄子 (3F)

◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】

第1水曜日 19:00~20:30 一場修神父

【山科教会】

毎金曜日 9:30ミサ後 モンロイ神父

【伏見教会】

毎火曜日 10:00ミサ後~11:30 一場神父

【桃山教会】

第1・2・4金曜日 19:30~20:30 一場神父

◇南部地区信徒養成講座◇

(1F 集会室)

北村 善朗神父 「祈りを学ぶ」

9月24日(木) 14:00

10月22日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◇聖書通読会◇

(1F 集会室) 毎週金曜日 14:30~16:00

※通読会は9月25日で終了となります

◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

毎月/第3火曜日 10:30

※福音の分ち合いです。どなたでもどうぞ